



2022年8月22日

## 農事組合法人世羅大豊農園による 「くひろぎん」SDGs 取組支援サービスのご利用について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、「くひろぎん」SDGs 取組支援サービスを通じて、農事組合法人世羅大豊農園(本社:広島県世羅郡世羅町、組合長理事 松村 健立朗)が SDGs 宣言を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 【企業概要】

会社名	農事組合法人世羅大豊農園
所在地	広島県世羅郡世羅町大字京丸 10804 番地 1
代表者	松村 健立朗
業種	果樹栽培・販売業、観光農園事業
事業内容等	梨やブドウを中心としたフルーツの生産・販売 観光農園事業(梨狩り体験・ぶどう狩り体験) 直営販売施設「山の駅」の管理運営

※世羅大豊農園の「SDGs 宣言」および「くひろぎん」SDGs 取組支援サービスの概要は別紙をご参照ください。

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。  
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社 広島銀行 法人企画部  
TEL (082)247-5151 (代表)



# 農事組合法人世羅大豊農園 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2022年8月22日  
農事組合法人世羅大豊農園  
組合長理事 松村 健立朗

## 当社のSDGsへの貢献

### まごころとおいしさを届ける

半世紀にわたり手掛けてきた、世羅の名産“梨”の他、ぶどう等の安定的な生産販売を通じて、“まごころ”と地元の“おいしい”を届けてまいります。

【主な取組み】

- ・全世代が楽しめるフルーツ狩り等の観光事業の推進
- ・生鮮品として扱えない作物の加工による商品化
- ・最新の機能を備えた選果機の導入により盤石な品質管理体制を整え、商品の安全且つ安定的な市場供給を実施



### 自然への愛を大切に

「人々から愛される農園」をモットーに、穏やかで豊かな世羅台地の自然環境の保護に努めてまいります。

【主な取組み】

- ・直売施設でのバイオマス25%配合レジ袋の使用、フルーツ狩り体験での紙製カゴの使用によるCO2削減
- ・園内全域に防蚊灯を設置し省農薬化と無袋栽培を実現
- ・防蚊灯のLED化の実施
- ・当組合のぶどう園場への巣箱設置等による、絶滅危惧種の鳥「ブッポウソウ」の保全活動への参画



### 和やかな職場づくり

全職員が果物の生産活動を通して学び、楽しみ、彩りある人生を送れるよう、誰もが働きやすい職場環境を整えてまいります。

【主な取組み】

- ・年齢に上限を設けない雇用の実施による中山間地域における雇用機会の創出
- ・定期的な健康診断及び健康相談の実施による職員の健康管理の実施
- ・各指導機関と連携し、生産技術の習得支援を実施



### 農園の未来のために

人と人とがふれあえる環境を作り、後世に残すことのできる基盤を生み出し続けることで、持続可能な地域社会の実現に邁進してまいります。

【主な取組み】

- ・中学・高校・大学等の職場体験、小学校社会見学の受入れ
- ・働きがいのある職場環境の構築、「果樹生産で農業振興」を掲げた幅広い人材の積極的雇用
- ・直売施設「山の駅」における地元産商品の販売



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。

## 「〈ひろぎん〉SDGs 取組支援サービス」について

## ○特長

- ・経済産業省関東経済産業局公表の「SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項」をもとに作成したオリジナルのチェックシート\*により、企業のSDGsへの取組み状況を確認し、必要対応事項を整理した結果をフィードバックします。

※チェックシートの作成について、地元企業のSDGsへの取組み促進の主旨に賛同いただいた三井住友海上火災保険株式会社およびMS&ADインターリスク総研株式会社に協力いただいています。

- ・対外PR支援として、各社専用の“SDGs宣言”を策定し、ホームページへの掲載等に使用可能なデータにてご提供いたします。

## ○サービス概要

取扱店	全店
対象となる方	当行と預金取引のある法人のお客さま
サービス内容	<p>SDGsへの取組み状況の確認と必要対応事項の整理から、対外PR支援までを実施</p> <p><b>【取組み状況の確認と必要対応事項の整理】</b>          経済産業省関東経済産業局公表の「SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項」をもとに作成したチェックシート（5分野35項目）により、企業のSDGsへの取組み状況を確認し、必要対応事項を整理した結果を専用のフィードバックシートにて還元  <small>※チェックシート開発協力：三井住友海上火災保険㈱、MS&amp;ADインターリスク総研㈱</small></p> <p><b>【対外PR支援】</b>          専用の“SDGs宣言”を策定し、ホームページの掲載等に使用可能なデータにて提供</p> <p><b>【その他】</b>          希望に応じ、当行からニュースリリースを実施</p>
利用手数料	110,000円（消費税込）